

# 1 旅行業法及びこれに基づく命令

以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 次の記述から、法第1条「目的」に定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行の安全の確保及び旅行者の利便の増進
- b. 旅行の容易化及び円滑化の推進
- c. 旅行業等を営む者の業務の適正な運営の確保
- d. 旅行者に対する接遇の向上

ア. a, b                      イ. a, c                      ウ. b, c, d                      エ. a, b, c, d

(2) 「定義」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 報酬を得て、専ら運送サービスを提供する者のため、旅行者に対する運送サービスの提供について、代理して契約を締結する行為を行う事業は、旅行業に該当しない。
- イ. 報酬を得て、自ら経営する運送機関又は宿泊施設を利用して、旅行者に対して運送又は宿泊のサービスを提供する行為を行う事業は、旅行業に該当しない。
- ウ. 報酬を得て、旅行業を営む者のため、宿泊サービスを提供する者と契約を締結する行為を行う事業は、旅行業に該当しない。
- エ. 報酬を得て、旅行に関する相談に応ずる行為を行う事業は、旅行業に該当しない。

(3) 旅行業の「新規登録及び更新登録の申請手続」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 業務の範囲が第1種旅行業務である旅行業の新規登録又は更新登録の申請をしようとする者は、申請書を観光庁長官に提出しなければならない。
- イ. 業務の範囲が第2種旅行業務である旅行業の新規登録又は更新登録の申請をしようとする者は、申請書を主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に提出しなければならない。
- ウ. 業務の範囲が第3種旅行業務である旅行業の新規登録又は更新登録の申請をしようとする者は、申請書を主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に提出しなければならない。
- エ. 業務の範囲が地域限定旅行業務である旅行業の新規登録又は更新登録の申請をしようとする者は、申請書を観光庁長官に提出しなければならない。

(4) 次の記述から、旅行業又は旅行業者代理業の登録を受けようとする者が提出する申請書に記載すべき事項として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- b. 主たる営業所及びその他の営業所の名称及び所在地
- c. 事業の経営上使用する商号があるときはその商号
- d. 旅行業者代理業を営もうとする者にあっては、その代理する旅行業を営む者が法人であるときは、その代表者の氏名

ア. a, b, c      イ. a, b, d      ウ. b, c, d      エ. a, b, c, d

(5) 「登録の拒否」に関する次の記述のうち、旅行業又は旅行業者代理業の登録の拒否事由に該当しないものはどれか。

- ア. 旅行業又は旅行業者代理業の登録を取り消され、その取消の日から5年を経過していない者
- イ. 旅行業の登録を取り消された者が法人である場合においては、当該取消しに係る聴聞の期日及び場所の公示の日前60日以内に当該法人の役員であった者で、当該取消の日から5年を経過していないもの
- ウ. 法人であって、その役員のうち申請前5年以内に道路交通法に違反して罰金の刑に処せられた者があるもの
- エ. 申請前5年以内に旅行業務に関し不正な行為をした者

(6) 「営業保証金の額等」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 第1種旅行業の登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、前事業年度における旅行業務に関する旅行者との取引の額が5000万円未満である場合にあっては、300万円である。
- b. 第2種旅行業の登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、前事業年度における旅行業務に関する旅行者との取引の額が5000万円未満である場合にあっては、700万円である。
- c. 第3種旅行業の登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、前事業年度における旅行業務に関する旅行者との取引の額が5000万円未満である場合にあっては、300万円である。
- d. 地域限定旅行業の登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、当該地域限定旅行業者が新規登録又は変更登録の申請時に添付した書面に記載した年間取引見込額が5000万円未満である場合にあっては、100万円である。

ア. a, b      イ. c, d      ウ. b, c, d      エ. a, b, c, d

(7) 「旅行業務取扱管理者の選任」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行者等は、その営業所の旅行業務取扱管理者として選任した複数の者のうち、1人が欠けるに至ったときは、その営業所において旅行業務に関し旅行者と契約を締結してはならない。
- イ. 旅行者等は、その営業所において旅行業務を取り扱う者が1人である場合には、他の営業所において選任されている旅行業務取扱管理者をその営業所の旅行業務取扱管理者として兼務させることができる。
- ウ. 旅行者等は、本邦外及び本邦内の旅行について旅行業務を取り扱う営業所にあつては、総合旅行業務取扱管理者及び国内旅行業務取扱管理者を選任しなければならない。
- エ. 旅行者等は、旅行業務取扱管理者について、旅行業協会が実施する研修を受けさせること等により、その職務に関し必要な知識及び能力の向上を図るよう努めなければならない。

(8) 次の記述のうち、「旅行業務取扱管理者の職務」として定められていないものはどれか。

- ア. 法第12条の6の規定による外務員の証明書携帯等に関する事項
- イ. 旅行に関する苦情の処理に関する事項
- ウ. 法第12条の4の規定による取引条件の説明に関する事項
- エ. 契約締結の年月日、契約の相手方その他の旅行者又は旅行に関するサービスを提供する者と締結した契約の内容に係る重要な事項についての明確な記録又は関係書類の保管に関する事項

(9) 旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金（企画旅行に係るものを除く。）に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者等は、事業の開始後速やかに、旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金を定め、これをその営業所において旅行者に見やすいように掲示しなければならない。
- b. 旅行業務の取扱いの料金は、契約の種類及び内容に応じて定率、定額その他の方法により定められ、旅行者にとって明確でなければならない。
- c. 旅行者等は、旅行業務の取扱いの料金を変更したときは、遅滞なく登録行政庁に届け出なければならない。
- d. 旅行者代理業者は、その営業所において、所属旅行者が定めた旅行業務の取扱いの料金を旅行者に見やすいように掲示しなければならない。

- ア. a, b                      イ. b, d                      ウ. a, b, d                      エ. b, c, d

(10) 次の記述から、「旅行業約款」の認可の基準として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 企画旅行を実施する旅行者にあっては、旅行者の責任に関する事項が、企画旅行契約と手配旅行契約その他の企画旅行契約以外の契約との別に応じ、明確に定められているものであること。
- b. 旅行者の正当な利益を害するおそれがないものであること。
- c. 少なくとも旅行業務の取扱いの料金その他の旅行者との取引に係る金銭の収受及び払戻しに関する事項が明確に定められているものであること。
- d. 少なくとも旅行者の責任に関する事項が明確に定められているものであること。

ア. a, c                      イ. a, d                      ウ. b, d                      エ. c, d

(11) 次の記述から、「旅行業約款の記載事項」として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業務の取扱いの料金その他の旅行者との取引に係る金銭の収受に関する事項
- b. 契約の変更及び解除に関する事項
- c. 責任及び免責に関する事項
- d. 旅行中の損害の補償に関する事項

ア. a, b, c                      イ. a, c, d                      ウ. b, c, d                      エ. a, b, c, d

(12) 「取引条件の説明」に関する次の記述のうち、旅行者等が企画旅行契約以外の旅行業務に関する契約（旅行に関する相談に応ずる行為に係る契約を除く。）を締結しようとする場合の説明事項として定められていないものはどれか。

- ア. 契約を締結する旅行者の氏名又は名称
- イ. 契約締結の年月日
- ウ. 旅行者代理業者が所属旅行者を代理して契約を締結する場合にあっては、その旨
- エ. 旅行業務の取扱いの料金に関する事項

(13) 次の記述から、旅行者等が企画旅行契約以外の旅行業務に関する契約（旅行に関する相談に応ずる行為に係る契約を除く。）を締結しようとする場合にあっては、その取引の条件について説明をするときに交付する書面の記載事項として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 契約を締結する旅行者の氏名又は名称及び住所並びに登録番号
- b. 旅行者代理業者が所属旅行者を代理して契約を締結する場合にあっては、その旨並びに当該旅行者代理業者の氏名又は名称及び住所並びに登録番号
- c. 旅程管理業務を行う者が同行しない場合にあっては、旅行地における企画者との連絡方法
- d. 旅行者が旅行者等に支払うべき対価及びその収受の方法

ア. a, b                      イ. b, d                      ウ. a, b, d                      エ. a, b, c, d

(14) 「書面の交付」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者等は、旅行者と企画旅行契約を締結したときに交付する書面には、契約の申込方法及び契約の成立に関する事項を記載しなければならない。
- イ. 旅行者等は、旅行者と手配旅行契約を締結したときに交付する書面には、旅行業務の取扱いの料金に関する事項を記載しなければならない。
- ウ. 旅行者等は、旅行者と手配旅行契約を締結したときに交付する書面には、責任及び免責に関する事項を記載しなければならない。
- エ. 旅行者等は、旅行者と企画旅行契約を締結したときに交付する書面には、旅行者が旅行者等に支払うべき対価に含まれていない旅行に関する経費であって旅行者が通常必要とするものを記載しなければならない。

(15) 「外務員の証明書携帯等」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 外務員とは、勧誘員、販売員、外交員その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、旅行者等の役員又は使用人のうち、その営業所以外の場所でその旅行者等のために旅行業務について取引を行う者をいう。
- イ. 外務員は、外務員としての業務を行うときは、外務員の証明書を提示しなければならない。
- ウ. 第1種旅行者の外務員の証明書は、観光庁長官が発行する。
- エ. 外務員は、旅行者が悪意であったときを除き、その所属する旅行者等に代わって、旅行者との旅行業務に関する取引についての一切の裁判外の行為を行う権限を有するものとみなす。

(16) 企画旅行に参加する旅行者を募集するための広告の表示に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者が旅行者等に支払うべき対価が企画旅行の出発日より異なる場合において、その最低額を表示するときは、併せてその最高額を表示しなければならない。
- b. 旅程管理業務を行う者の同行の有無及びその同行する者の氏名を表示しなければならない。
- c. 企画旅行の参加者数があらかじめ企画者が定める人員数を下回った場合に当該企画旅行を実施しないこととするときは、その旨及び当該人員数を表示しなければならない。
- d. 旅行者が提供を受けることができるサービスに専ら企画旅行の実施のために提供される運送サービスが含まれる場合にあつては、当該運送サービスの内容を勘案して、旅行者が取得することが望ましい輸送の安全に関する情報を表示しなければならない。

ア. a, b, c      イ. a, c, d      ウ. b, c, d      エ. a, b, c, d

(17) 次の記述から、「誇大表示をしてはならない事項」として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行地における旅行者の安全の確保に関する事項
- b. 感染症の発生の状況その他の旅行地における衛生に関する事項
- c. 旅行地の景観、環境その他の状況に関する事項
- d. 旅行者に対する損害の補償に関する事項

ア. a, d      イ. a, b, d      ウ. a, c, d      エ. a, b, c, d

(18) 「標識」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行者等は、その営業所において国土交通省令で定める標識を、公衆に見やすいように備え置かなければならない。
- イ. 旅行業協会の社員である旅行者は、標識にその所属する旅行業協会の名称及び所在地を記載しなければならない。
- ウ. 旅行者等以外の者は、国土交通省令で定める様式の標識に類似する標識を掲示してはならない。
- エ. 標識の受託取扱企画旅行の欄には、受託契約を締結している者にあつては、取り扱っている企画旅行の商品名が明確となるよう記載しなければならない。

(19) 「企画旅行の円滑な実施のための措置」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行に関する計画に定めるサービスの旅行者への確実な提供を確保するために旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日までに必要な予約その他の措置を講じなければならない。
- イ. 旅行業者は、旅行地において旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置について、本邦内の旅行であって、契約の締結の前に旅行者にこれらの措置を講じない旨を説明すれば、これを行わなくてもよい。
- ウ. 旅行業者は、旅行に関する計画に定めるサービスの内容の変更を必要とする事由が生じた場合における代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置について、本邦内の旅行であって、当該旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付すれば、これを行わなくてもよい。
- エ. 旅行業者は、旅行に関する計画における2人以上の旅行者が同一の日程により行動することを要する区間における円滑な旅行の実施を確保するために必要な集合時刻、集合場所その他の事項に関する指示を行わなければならない。

(20) 「旅程管理業務を行う者」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行業者によって選任された旅程管理業務を行う主任の者の指導による旅程管理業務に相当する実務の研修を受けた経験は、当該研修を受けた地域を目的地とする旅行に係る旅程管理業務に従事した経験とみなされる。
- イ. 企画旅行に参加する旅行者に同行して旅程管理業務を行う者は、旅行業者によって選任された主任の者以外の者であっても、観光庁長官の登録を受けた者が実施する旅程管理業務に関する研修の課程を修了したものでなければならない。
- ウ. 旅程管理業務に関する実務の経験は、観光庁長官の登録を受けた者が実施する旅程管理業務に関する研修の課程を修了した日から1年以内に1回以上又は3年以内に2回以上の旅程管理業務に従事した経験に限られる。
- エ. 旅程管理業務に関する実務の経験は、本邦外の企画旅行に参加する旅行者に同行する者にあっては本邦外の旅行に関する旅程管理業務に従事した経験に、本邦内の企画旅行に参加する旅行者に同行する者にあっては本邦内の旅行に関する旅程管理業務に従事した経験に限られる。

(21) 「禁止行為」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者等は、その営業所に掲示した旅行業務の取扱いの料金を超えて料金を収受する行為をしてはならない。
- b. 旅行者等は、旅行業務に関し取引をする者に対し、その取引に関する重要な事項について、故意に事実を告げず、又は不実のことを告げる行為をしてはならない。
- c. 旅行者等は、旅行業務に関し取引をした者に対し、その取引によって生じた債務の履行を不当に遅延する行為をしてはならない。
- d. 旅行者等は、運送サービス（専ら企画旅行の実施のために提供されるものに限る。）を提供する者に対し、輸送の安全の確保を不当に阻害する行為をしてはならない。

ア. a, b, c      イ. a, b, d      ウ. b, c, d      エ. a, b, c, d

(22) 「旅行者代理業者」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者代理業の登録は、当該旅行者代理業者が所属旅行者のために旅行業務を取り扱うことを内容とする契約が効力を失ったときは、その効力を失う。
- イ. 登録行政庁は、旅行者代理業者に対し、その行う営業が旅行業であると誤認させ、又は所属旅行者を誤認させないようにするための措置をとるべきことを命ずることができる。
- ウ. 旅行者は、当該旅行者を所属旅行者とする旅行者代理業者が旅行業務につき旅行者に損害を加えた場合には、その旅行者代理業者への委託につき相当の注意をし、かつ、その旅行者代理業者の行う旅行業務につき旅行者に加えた損害の発生防止に努めたときであっても、その損害を賠償する責任を負わなければならない。
- エ. 旅行者代理業者は、旅行業務に関し取引をしようとするときは、所属旅行者の氏名又は名称及び旅行者代理業者である旨を取引の相手方に明示しなければならない。

(23) 次の記述のうち、「業務改善命令」として定められていないものはどれか。

- ア. 旅程管理業務を行う主任の者を解任すること。
- イ. 旅行業約款を変更すること。
- ウ. 企画旅行に係る旅程管理のための措置を確実に実施すること。
- エ. 旅行業務の取扱いの料金又は企画旅行に関し旅行者から収受する対価を変更すること。

(24) 「登録の取消し等」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 登録行政庁は、旅行者等が旅行業法若しくは旅行業法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、6箇月以内の期間を定めて業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。
- イ. 登録行政庁は、旅行者等の登録を取り消す場合においては、遅滞なく、理由を付して、その旨を当該旅行者等に通知しなければならない。
- ウ. 登録行政庁は、旅行者等が不正な手段により変更登録を受けたときは、1年以内の期間を定めて業務の全部の停止を命ずることができる。
- エ. 登録行政庁は、旅行者等が登録を受けてから1年以内に事業を開始せず、又は引き続き1年以上事業を行っていないと認めるときは、登録を取り消すことができる。

(25) 次の記述のうち、旅行業協会が適正かつ確実に実施しなければならない業務として定められていないものはどれか。

- ア. 旅行業務の取扱いに従事する者に対する研修
- イ. 取引の公正を確保するための旅行者等に対する業務監査
- ウ. 旅行業及び旅行者代理業の健全な発達を図るための調査、研究及び広報
- エ. 旅行業務の適切な運営を確保するための旅行者等に対する指導

## 2 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款

1. 標準旅行業約款に関する以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 募集型企画旅行契約の部「用語の定義」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 「募集型企画旅行」とは、旅行業者が、旅行者の募集のためにあらかじめ、旅行の目的地及び日程、旅行者が提供を受けることができる運送又は宿泊のサービスの内容並びに旅行者が旅行業者に支払うべき旅行代金の額を定めた旅行に関する計画を作成し、これにより実施する旅行をいう。
- b. 「海外旅行」とは、本邦外のみ旅行をいい、「国内旅行」とは、本邦内のみ旅行をいう。
- c. 「電子承諾通知」とは、契約の申込みに対する承諾の通知であって、情報通信の技術を利用する方法のうち旅行業者又は旅行業者の募集型企画旅行を旅行業者を代理して販売する会社を使用する電子計算機、ファクシミリ装置、テレックス又は電話機と旅行者が使用する電子計算機等とを接続する電気通信回線を通じて送信する方法により行うものをいう。
- d. 「カード利用日」とは、旅行者又は旅行業者が募集型企画旅行契約に基づく旅行代金等の支払又は払戻債務を履行すべき日をいう。

ア. a, d                      イ. a, c, d                      ウ. b, c, d                      エ. a, b, c, d

(2) 募集型企画旅行契約の部「契約の申込み」「電話等による予約」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者に通信契約の申込みをしようとする旅行者は、申込みをしようとする募集型企画旅行の名称、旅行開始日、会員番号その他の事項（本問において、以下「会員番号等」という。）を旅行業者に通知しなければならない。
- b. 旅行者から募集型企画旅行の参加に際し、特別な配慮を必要とする旨の申し出が契約の申込時であったときは、旅行業者は可能な範囲内でこれに応じる。
- c. 電話等による予約の場合において、通信契約の申込みをしようとする旅行者から会員番号等の通知があったときは、募集型企画旅行契約の締結の順位は、申込書と申込金の提出又は会員番号等の通知の順位による。

ア. a, b                      イ. a, c                      ウ. b, c                      エ. a, b, c

(3) 募集型企画旅行契約の部「契約締結の拒否」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者があらかじめ明示した性別、年齢、資格、技能その他の参加旅行者の条件を旅行者が満たしていないときは、旅行業者は、契約の締結に応じないことがある。
- b. 旅行業者は、応募旅行者数が募集予定数に達したときは、契約の締結に応じないことがある。
- c. 旅行業者は、旅行者が他の旅行者に迷惑を及ぼし、又は団体行動の円滑な実施を妨げるおそれがあるときは、契約の締結に応じないことがある。
- d. 旅行業者は、通信契約を締結しようとする場合であって、旅行者の有するクレジットカードが無効である等、旅行者が旅行代金等に係る債務の一部又は全部を提携会社のカード会員規約に従って決済できないときは、契約の締結に応じないことがある。

ア. a, b, c      イ. a, b, d      ウ. b, c, d      エ. a, b, c, d

(4) 募集型企画旅行契約の部「契約の成立時期」「契約書面の交付」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 通信契約は、旅行業者が契約の締結を承諾する旨の通知を発した時に成立する。ただし、当該契約において電子承諾通知を発する場合は、当該通知が旅行者に到達した時に契約が成立する。
- b. 旅行業者が募集型企画旅行契約により手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、契約書面に記載するところによる。
- c. 募集型企画旅行契約は、旅行業者が契約の締結を承諾し、申込書を受理した時に成立する。

ア. a, b      イ. a, c      ウ. b, c      エ. a, b, c

(5) 募集型企画旅行契約の部「確定書面」「情報通信の技術を利用する方法」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行者の承諾を得ることなく、契約書面又は確定書面の交付に代えて、情報通信の技術を利用する方法により当該書面に記載すべき事項を提供することができる。
- イ. 旅行業者が確定書面を交付した場合には、当該旅行契約により手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、当該確定書面に記載するところに特定される。
- ウ. 旅行業者は、手配状況の確認を希望する旅行者から問い合わせがあったときは、確定書面の交付前であっても、迅速かつ適切にこれに回答する。
- エ. 旅行業者は、契約書面において、確定された旅行日程、運送若しくは宿泊機関の名称を記載できない場合には、当該契約書面において利用予定の宿泊機関及び表示上重要な運送機関の名称を限定して列挙した上で、当該契約書面交付後、旅行開始日の前日（旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降に募集型企画旅行契約の申込みがなされた場合にあつては、旅行開始日）までの当該契約書面に定める日までに、これらの確定状況を記載した書面を交付する。

(6) 募集型企画旅行契約の部「旅行者の解除権」に関する次の記述のうち、旅行者が旅行開始前に契約を解除するに当たって取消料の支払いを要するものはどれか（いずれも取消料の支払いを要する期間内の解除とする）。

ア. 確定書面に記載されたホテルが変更になったとき。

イ. 旅行者の配偶者が死亡したとき。

ウ. 契約書面にA美術館に入場すると記載されていたが、A美術館の都合によりB美術館に変更となったとき。

エ. 運送機関の適用運賃・料金が、著しい経済情勢の変化等により、当該旅行の募集の際に明示した時点において有効なものとして公示されている適用運賃・料金に比べて、通常想定される程度を大幅に超えて増額されたため、その増額された金額の範囲内で旅行代金が増額されたとき。

(7) 募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権等－旅行開始前の解除」に関する次の記述のうち、旅行業者が旅行開始前に契約を解除できないものはどれか（いずれの場合も解除に係わる旅行者への理由説明は行うものとする）。

ア. 旅行者が他の旅行者に迷惑を及ぼし、又は団体旅行の円滑な実施を妨げるおそれがあると認められるとき。

イ. 1泊2日のスキーを目的とする国内旅行において、参加する旅行者の数が契約書面に記載した最少催行人員に達しなかったため、当該旅行を中止する旨を旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目に当たる日に旅行者に通知したとき。

ウ. 紅葉観賞を目的とする国内旅行において、異常気象により紅葉が遅くなり、紅葉観賞そのものができないおそれが極めて大きいことから、当該旅行を中止する旨を旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目に当たる日に旅行者に通知したとき。

エ. 旅行者が、契約内容に関し合理的な範囲を超える負担を求めたとき。

(8) 募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権－旅行開始後の解除」に関する次の記述から、旅行業者が解除権を行使することができるもののみをすべて選んでいるものはどれか（いずれの場合も解除に係わる旅行者への理由説明は行うものとする）。

a. 官公署の命令により、旅行の継続が不可能となったとき。

b. 旅行者が他の旅行者に対する暴行又は脅迫等により、団体行動の規律を乱し、当該旅行の安全かつ円滑な実施を妨げるとき。

c. 運送機関の旅行サービス提供の中止により、旅行の継続が不可能となったとき。

d. 旅行者が病気、必要な介助者の不在その他の事由により旅行の継続に耐えられないとき。

ア. a, b, c

イ. a, c, d

ウ. b, c, d

エ. a, b, c, d

(9) 募集型企画旅行契約の部「旅行代金の払戻し」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか（選択肢ウ、以外は通信契約でないものとする）。

- ア. 旅行代金の増額がなされたため、旅行者が旅行開始前に契約を解除した場合、旅行業者は、解除の翌日から起算して7日以内に旅行者に対し収受済みの旅行代金を払い戻しする。
- イ. 旅行業者による旅行開始後の契約の解除により、旅行者に対して払い戻すべき金額が生じたときは、旅行業者は、契約書面に記載した旅行終了日の翌日から起算して30日以内に当該金額を払い戻しする。
- ウ. 旅行業者は、通信契約が解除された場合において、旅行者に対して払い戻すべき金額が生じたときは、提携するクレジットカード会社のカード会員規約に従って、旅行者に対し当該金額を払い戻しする。
- エ. 旅行業者の関与し得ない事由により旅行開始前に契約の内容を変更した場合であって、旅行の実施に要する費用が減少し、旅行代金が減額された場合において、旅行者に対し払い戻すべき金額が生じたときは、旅行業者は、旅行者に対し減額する旨を通知した日の翌日から起算して7日以内に当該減額した金額を払い戻しする。

(10) 募集型企画旅行契約の部「旅程管理」「旅行業者の指示」「添乗員等の業務」「保護措置」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者は、旅行開始後旅行終了までの間において、団体で行動するときは、旅行を安全かつ円滑に実施するための旅行業者の指示に従わなければならない。
- イ. 旅行業者は、旅行サービスの内容を変更するときは、変更後の旅行サービスが当初の旅行サービスと同様のものとなるよう努めること等、契約内容の変更を最小限にとどめるよう努力しなければならない。
- ウ. 旅行業者は、旅行の内容により添乗員その他の者を同行させて旅程管理業務その他当該募集型企画旅行に付随して旅行業者が必要と認める業務の全部又は一部を行わせることがある。
- エ. 旅行業者は、旅行中の旅行者が、疾病、傷害等により保護を要する状態にあると認めたときは、必要な措置を講ずることがある。この場合において、これが旅行業者の責に帰すべき事由によるものでなくても、当該措置に要した費用は旅行業者の負担となる。

(11) 募集型企画旅行契約の部「旅行者の責任」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者は、旅行契約を締結するに際しては、旅行業者から提供された情報を活用し、旅行者の権利義務その他の募集型企画旅行契約の内容について理解するよう努めなければならない。
- b. 旅行者の故意又は過失により旅行業者が損害を被ったときは、当該旅行者は、旅行業者に対して損害を賠償しなければならない。
- c. 旅行者は、旅行開始後において、契約書面に記載された旅行サービスを円滑に受領するため、万が一契約書面と異なる旅行サービスが提供されたと認識したときは、旅行終了後速やかにその旨を旅行業者に申し出なければならない。

ア. a, b                      イ. a, c                      ウ. b, c                      エ. a, b, c

(12) 受注型企画旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者は、旅行者に対し、旅行日程、旅行サービスの内容その他の受注型企画旅行契約の内容を変更するよう求めることができる。この場合において、旅行者は、可能な限り旅行者の求めに応じる。
- イ. 旅行者が旅行者との間において、法令に反せず、かつ、旅行者の不利にならない範囲で書面により特約を結んだときは、その特約が約款に優先して適用される。
- ウ. 受注型企画旅行契約においては、旅行者は、旅程を管理する義務を負わない。
- エ. 旅行者は、企画書面において、企画料金の金額を明示した場合は、当該金額を契約書面において明示する。

(13) 受注型企画旅行契約の部「契約責任者」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者は、特約を結んだ場合を除き、契約責任者はその団体・グループを構成する旅行者（本問において、以下「構成者」という。）の受注型企画旅行契約の締結に関する一切の代理権を有しているものとみなし、当該団体・グループに係る旅行業務に関する取引は、当該契約責任者との間で行う。
- イ. 旅行者は、契約責任者が団体・グループに同行しない場合、旅行開始後においては、あらかじめ契約責任者が選任した構成者を契約責任者とみなす。
- ウ. 契約責任者は、旅行者が定める日までに、構成者の名簿を旅行者に提出しなければならない。
- エ. 旅行者は、契約責任者が構成者に対して現に負い、又は将来負うことが予測される債務又は義務について、その責任を負う。

(14) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述から、誤っているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者が支払うべき変更補償金の額は、旅行者1名に対して1募集型企画旅行又は1受注型企画旅行につき旅行代金に15%以上の旅行者が定める率を乗じた額をもって限度とする。
- b. 旅行者1名に対して1募集型企画旅行又は1受注型企画旅行につき支払うべき変更補償金の額が1000円未満であるときは、旅行者は、変更補償金を支払わない。
- c. 運送・宿泊機関等が当該旅行サービスの提供を行っているにもかかわらず、運送・宿泊機関等の座席、部屋その他の諸設備の不足が発生したことにより、所定の契約内容の重要な変更が生じた場合において、旅行者は、旅行者から旅行終了日の翌日から起算して30日以内に通知があったときに限り、変更補償金を支払う。
- d. 旅行者の過失によって所定の契約内容の重要な変更が生じた場合において、旅行者は、旅行者に対し、変更補償金に加えて、その変更によって生じた旅行者の損害に対する賠償金を支払わなければならない。

- ア. a, b                      イ. c, d                      ウ. a, b, d                      エ. a, b, c, d

(15) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述から、変更補償金の支払いを要するもののみをすべて選んでいるものはどれか（変更補償金の額は、約款に定める支払いを要する額とする）。

- a. 確定書面には、利用航空会社として「A航空会社エコノミークラス」と記載されていたが、A航空会社の過剰予約受付のため利用できなくなり、契約書面に記載のあるB航空会社のビジネスクラスに変更になったとき。
- b. 契約書面に「東京スカイツリー天望デッキから初日の出を眺めたのち浅草寺参拝」と記載されていたが、天候が悪く初日の出が見られなかったとき。
- c. 確定書面に「Aホテル」に宿泊と記載されていたが、Aホテルの過剰予約受付のため、Aホテルと同等クラスのBホテルに変更になったとき。
- d. 確定書面に客室の条件として、Aホテルの「禁煙ルーム」に宿泊と記載されていたが、Aホテルの過剰予約受付のため、Aホテルの喫煙ルームに変更になったとき。

ア. a, b                      イ. c, d                      ウ. a, c, d                      エ. a, b, c, d

(16) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「特別補償」「別紙特別補償規程」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、国内旅行を目的とする受注型企画旅行参加中の旅行者を対象として、別途の旅行代金を収受して当該旅行業者が実施する募集型企画旅行に参加した旅行者が死亡したときは、当該旅行業者は死亡補償金として当該旅行者の法定相続人に対して3000万円を支払う。
- イ. 旅行者があらかじめ定められた企画旅行の行程から離脱する場合において、離脱及び復帰の予定日時をあらかじめ旅行業者に届け出ていたときは、離脱の時から復帰の予定の時までの間は「企画旅行参加中」とする。
- ウ. 旅行業者が損害賠償責任に基づき損害賠償金を支払う場合において、特別補償規程に基づく旅行業者の補償金支払義務は、旅行業者が支払うべき当該損害賠償金に相当する額だけ縮減する。
- エ. 旅行業者は、旅行者が事故の日から180日を超えてなお治療を要する状態にあるときは、当該事故の日から181日目における医師の診断に基づき後遺障害の程度を認定して、後遺障害補償金を支払う。

(17) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「別紙特別補償規程」の「携帯品損害補償」において、携帯品損害補償金を支払う補償対象品となるものはどれか。

- ア. 盗難にあったクレジットカード
- イ. ホテルの部屋に置き忘れたUSBメモリー
- ウ. 誤って水に流してしまったコンタクトレンズ
- エ. 補償対象品である液体が流出したため、機能に支障をきたしたデジタルカメラ

(18) 手配旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア。「手配旅行契約」とは、旅行業者が旅行者の委託により、旅行者のために代理、媒介又は取次をすること等により旅行者が運送・宿泊機関等の提供する運送、宿泊その他の旅行に関するサービスの提供を受けることができるように、手配することを引き受ける契約をいう。
- イ. 旅行業者は、手配旅行契約の履行に当たっては、手配の全部又は一部を他の旅行業者、手配を業として行う者その他の補助者に代行させることができない。
- ウ. 旅行者の求めにより旅行業者が手配旅行契約の内容を変更する場合、旅行者は、既に完了した手配を取り消す際に運送・宿泊機関等に支払うべき取消料、違約料その他の手配の変更に要する費用を負担するほか、旅行業者に対し、旅行業者所定の変更手続料金を支払わなければならない。
- エ. 旅行業者は、書面による特約をもって、申込金の支払いを受けることなく、契約の締結の承諾のみにより手配旅行契約を成立させることがある。

(19) 手配旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行開始前において、運送・宿泊機関等の運賃・料金の改訂、為替相場の変動その他の事由により旅行代金の変動が生じた場合は、当該旅行代金を変更することがある。この場合において、旅行代金の増加は旅行者に、減少は旅行業者に帰属する。
- イ. 旅行業者が善良な管理者の注意をもって旅行サービスの手配をしたときは、手配旅行契約に基づく旅行業者の債務の履行は終了する。
- ウ. 「旅行代金」とは、旅行業者が旅行サービスを手配するために、運賃、宿泊料その他の運送・宿泊機関等に対して支払う費用及び旅行業者所定の旅行業務取扱料金（変更手続料金及び取消手続料金を除く。）をいう。
- エ. 旅行業者は、運送サービス又は宿泊サービスの手配のみを目的とする手配旅行契約であって旅行代金と引換えに当該旅行サービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付するものについては、口頭による申込みを受け付けることがある。

(20) 旅行相談契約の部に関する次の記述から、誤っているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者が相談に対する旅行業務取扱料金（本問において、以下「相談料金」という。）を受受することを約して、旅行者の委託により、旅行者が旅行の計画を作成するために必要な助言を行うことは、旅行相談契約の業務のひとつである。
- b. 旅行相談契約は、旅行業者が契約の締結を承諾し、旅行者から申込金を受理した時に成立する。
- c. 旅行業者は、業務上の都合を理由に旅行相談契約の締結を拒否することはできない。
- d. 旅行業者が作成した旅行の計画に記載した運送・宿泊機関等について、実際に手配できなかったときは、旅行相談契約に基づき、旅行業者は、旅行者に対し相談料金に相当する額の違約料を支払う。

ア. b, c                      イ. c, d                      ウ. b, c, d                      エ. a, b, c, d

**2. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。**

- ア. 契約責任者は、運送契約の成立後において、運送申込書に記載した事項を変更しようとするときは、緊急の場合及びバス会社の認める場合を除き、あらかじめ書面によりバス会社の承諾を求めなければならない。
- イ. バス会社は、天災その他当該バス会社の責に帰することができない事由により輸送の安全の確保のため一時的に運行中止その他の措置をしたときは、これによって旅客の受けた損害を賠償する責に任じない。
- ウ. バス会社は、旅行業者が手配旅行の実施のため、バス会社に旅客の運送を申し込む場合には、当該旅行業者に手配旅行の実施を依頼した者と運送契約を締結する。
- エ. バス会社は、車両の故障その他緊急やむを得ない事由により、契約された運送を行ない得ない場合は、契約責任者に説明したうえで、運送契約の内容を変更することができる。

**3. 海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款（フェリーを含む一般旅客定期航路事業に関する標準運送約款）に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。**

- ア. フェリー会社は、旅客の乗船後に乗船券の通用期間が経過した場合は、そのまま継続して乗船する間に限り、当該乗船券の通用期間は、その間延長されたものとみなす。
- イ. 自動車の積込み及び陸揚げは、船長又はフェリー会社の係員の指示に従い、自動車の運転者が行う。
- ウ. 小児で付添人のない場合は、小学校に修学していてもフェリー運送契約の申込みを拒絶することができる。
- エ. 旅客が疾病により継続して乗船することができなくなった場合には、フェリー会社は、乗船券の未使用区間について、7日間を限度として、その通用期間を延長する取扱いに応じる。

**4. 国内旅客運送約款（日本航空・全日本空輸）「約款の適用」「受託手荷物の引渡し（日本航空）」「受託手荷物の受取り及び引渡し（全日本空輸）」「運送の拒否及び制限」「愛玩動物」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。**

- a. 旅客が航空機に搭乗する日において有効な運送約款及びこれに基づいて定められた規定が、当該旅客の運送に適用される。
- b. 航空会社が約款の定めに従い受託手荷物の引渡しを行う場合には、航空会社は、手荷物合符の持参人が当該手荷物の正当な受取人であるか否かを確認する義務を負う。
- c. 航空会社は、旅客が航空会社係員の業務の遂行を妨げ、又はその指示に従わない場合は、当該旅客の搭乗を拒絶し、又は寄航地飛行場で降機させることができる。当該措置に加えて、当該行為の継続を防止するため当該旅客を拘束することもできる。
- d. 旅客に同伴される飼い馴らされた小犬、猫、小鳥等の愛玩動物について、航空会社は、受託手荷物として運送を引き受ける。

ア. a, d                      イ. a, b, d                      ウ. a, c, d                      エ. b, c, d

**5. 旅客鉄道会社（JR）の旅客営業規則に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。**

- ア. 小口団体（普通団体）に対する運送の申込みの受付期間は、当該団体の始発駅出発日の9箇月前の日から14日前の日までである。ただし、別に定める場合は12日前の日まで受け付けることがある。
- イ. 運賃計算キロは、幹線の乗車区間に対する営業キロと地方交通線の乗車区間に対する「賃率換算キロ」又は「擬制キロ」（鉄道会社によって名称が異なる）を合算したもので、幹線と地方交通線とを連続して乗車する場合の旅客運賃を計算するときに適用される。
- ウ. 列車が事故等で運行不能となったとき、旅行を途中で中止する場合は、無賃で乗車券の券片に表示された発駅に戻ることができる。この場合において、途中下車をしていなければ、すでに収受した旅客運賃の全額が払いもどしされる。
- エ. 乗車券類とは、乗車券、急行券、寝台券及び座席指定券のみをいう。

**6. モデル宿泊約款に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。**

- ア. 宿泊客がホテル（旅館）の駐車場を利用する場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当該ホテル（旅館）は車両の管理責任を負う。
- イ. ホテル（旅館）は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日のあらかじめ明示された到着予定時刻を一定の時間経過した時刻になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがある。
- ウ. ホテル（旅館）の責めに帰すべき事由により、宿泊客に契約した客室の提供ができない場合において、同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋することができないときは、ホテル（旅館）は、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当する。
- エ. 宿泊客は、ホテル（旅館）に連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、客室を終日使用することができる。

### 3 国内旅行実務

1. 以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 人吉盆地を流れ八代市で八代海（不知火海）に注ぎ、清流コースや急流コースの川下りが楽しめる「日本三大急流」のひとつである河川は次のどれか。

ア. 球磨川                      イ. 吉野川                      ウ. 筑後川                      エ. 四万十川

(2) 富士川の支流、荒川上流沿いの美しい渓谷で、覚円峰、仙娥滝などを有し、「秩父多摩甲斐国立公園」内に位置するのは次のどれか。

ア. 竜王峡                      イ. 御嶽昇仙峡                      ウ. 恵那峡                      エ. 寸又峡

(3) 奈良県の十津川村にある長さ297メートルの橋で、もともと生活用に架けられたものが人気の観光スポットになったのは次のどれか。

ア. 西海橋                      イ. 佐田の沈下橋                      ウ. 谷瀬の吊り橋                      エ. 大三島橋

(4) 岩手県にある「日本三大鍾乳洞」のひとつで、地底湖と透明度の高い地下水で有名な国の天然記念物にも指定されているのは次のどれか。

ア. 秋芳洞                      イ. 玄武洞                      ウ. 玉泉洞                      エ. 龍泉洞

(5) 玄界灘に浮かび古くからアジア大陸と日本を結ぶ文化の中継地で、鎌倉時代の「元寇」の舞台にもなった壱岐が属する県名は次のどれか。

ア. 長崎県                      イ. 福岡県                      ウ. 佐賀県                      エ. 山口県

(6) 水戸藩第9代藩主徳川斉昭によって開園され、梅の名所として名高く、春先に行われる「梅まつり」には多くの観光客が訪れる庭園は次のどれか。

ア. 六義園                      イ. 縮景園                      ウ. 偕楽園                      エ. 磯庭園

(7) 山形県酒田市にあり、鳥海山を借景とする庭園「鶴舞園」が国の名勝に指定されている美術館は次のどれか。

ア. 大原美術館                      イ. 大塚国際美術館                      ウ. 碌山美術館                      エ. 本間美術館

(8) 維新政府軍と旧幕府勢力が戦った戊辰戦争において戦いの舞台となり、会津松平家の居城でもあった「若松城」の別名は次のどれか。

ア. 白帝城                      イ. 鶴ヶ城                      ウ. 青葉城                      エ. 烏城

(9) 札幌農学校の初代教頭ウィリアム・スミス・クラーク博士の銅像や、「さっぽろ雪まつり資料館」があることでも知られている観光スポットは次のどれか。

ア. 三愛の丘展望公園      イ. サイロ展望台              ウ. 大倉山展望台              エ. 羊ヶ丘展望台

(10) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）に関し、わが国の「世界自然遺産」に登録されていないのは次のどれか。

ア. 屋久島                      イ. 奄美大島                      ウ. 知床                      エ. 白神山地

2. 次の各行程で、前後に最も近い観光地を、選択肢の中からそれぞれ1つ選んで  を埋め、モデルコースを完成させなさい。

(1) 高知空港 — 龍河洞 —  — 金刀比羅宮 — 高松駅

ア. 大歩危峡                      イ. 三段峡                      ウ. 瀨八丁                      エ. 長瀨

(2) 郡山駅 — 猪苗代湖 —  — 會津藩校日新館 — 芦ノ牧温泉

ア. 太宰治記念館                      イ. 谷崎潤一郎記念館      ウ. 野口英世記念館              エ. 宮沢賢治記念館

(3) 信濃大町駅 — 黒部湖 — 室堂 —  — 富山駅

ア. 四十三万滝                      イ. 称名滝                      ウ. 吹割の滝                      エ. 袋田の滝

(4) 函館空港 —  — 昭和新山 — 支笏湖 — 新千歳空港

ア. 阿寒湖                      イ. 大沼                      ウ. 屈斜路湖                      エ. サロマ湖

(5) 宮崎空港 — 青島 — 鵜戸神宮 —  — 志布志港

ア. 足摺岬                      イ. 辺戸岬                      ウ. 都井岬                      エ. 日御碕

(6) 北鎌倉駅 —  — 鶴岡八幡宮 — 鎌倉大仏殿高德院 — 江ノ島駅

ア. 寛永寺                      イ. 建仁寺                      ウ. 仁和寺                      エ. 建長寺

(7) 新石垣空港 — 米原ヤエヤマヤシ群落 —  — 唐人墓 — 石垣島内（宿泊）

ア. 川平湾                      イ. 大村湾                      ウ. 宿毛湾                      エ. 中城湾

(8) 奈良駅 — 興福寺 — 東大寺大仏殿 —  — 春日大社本殿 — 奈良駅

ア. 伊吹山                      イ. 高野山                      ウ. 若草山                      エ. 六甲山

**3. 以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。**

(1) 次の国立公園の区域内にある山岳観光資源及び温泉地の組合せのうち、誤っているのはどれか。

ア. 大山隠岐国立公園      — 蒜山      — 城崎温泉  
イ. 支笏洞爺国立公園      — 羊蹄山      — 定山溪温泉  
ウ. 阿蘇くじゅう国立公園 — 由布岳      — 内牧温泉  
エ. 中部山岳国立公園      — 乗鞍岳      — 平湯温泉

(2) 次の温泉地のうち、すべて同じ都道府県にある組合せはどれか。

ア. 渋温泉      — 野沢温泉      — 白骨温泉  
イ. 浅虫温泉      — 登別温泉      — 十勝川温泉  
ウ. 嬉野温泉      — 雲仙温泉      — 黒川温泉  
エ. 草津温泉      — 鬼怒川温泉      — 水上温泉

(3) 次の代表的郷土・名物料理と県名の組合せのうち、誤っているのはどれか。

ア. 皿鉢料理      — 高知県                      イ. しっぽく料理      — 長崎県  
ウ. 鮎ずし      — 滋賀県                      エ. わんこそば      — 長野県

(4) 次の祭りや県名の組合せのうち、誤っているのはどれか。

ア. おわら風の盆      — 富山県                      イ. 黒船祭      — 静岡県  
ウ. 山鹿灯籠まつり      — 大分県                      エ. 那智の火祭      — 和歌山県

#### 4. 貸切バスによる運送に関する次の記述のうち、誤っているものを選択肢の中から1つ選びなさい。

(注) 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款によるものとする。

- ア. 「配車日が7月1日、1台10万円で契約した貸切バス1台」の運送契約を、契約責任者の都合で6月24日に解除した場合、バス会社は契約責任者に対し3万円の違約料を請求することができる。
- イ. バス会社は、学校教育法による小学校に通学する者の団体で、当該小学校の責任者が引率し、かつ当該小学校の長が発行する証明書を提出したものにあっては、地方運輸局長に届け出たところにより運賃及び料金の割引きを行う。
- ウ. 「配車日が7月1日午前8時、1台10万円で契約した貸切バス6台」の運送契約を、契約責任者の都合で6月30日午後5時に1台減車した場合、バス会社は契約責任者に対し違約料を請求することはできない。
- エ. 2日以上にわたる運送で乗務員の宿泊費が必要な場合は、バス会社は契約責任者に対し当該宿泊費を請求することができる。

#### 5. 宿泊に関する次の記述のうち、正しいものを選択肢の中から1つ選びなさい。

(注) モデル宿泊約款によるものとする。

- ア. 基本宿泊料(室料)が12,000円、チェックアウトが午前10時と定められたホテルで、午後2時まで客室を延長使用したときの時間外追加料金は4,000円である。
- イ. 基本宿泊料(室料)が10,000円、サービス料込の宿泊料金が11,000円のシングルルームにおいて、違約金の対象となるのは、基本宿泊料の10,000円である。
- ウ. 基本宿泊料(1泊2食)が大人1人10,000円の旅館に、大人1人、大人に準じる食事と寝具の提供を受ける小学生1人、子供用食事と寝具の提供を受ける小学生1人が宿泊する場合の3人分の基本宿泊料の合計は18,000円である。なお、サービス料及び消費税等諸税の計算は行わないものとする。
- エ. 旅館に、宿泊日の10日前に50名で宿泊の予約をしていた団体客が、契約の一部を解除し宿泊当日に40名となった場合、旅館は10名分の違約金を収受する。

#### 6. フェリーによる運送に関する次の設問について、該当する答を、選択肢の中から1つ選びなさい。

(注) 海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款によるものとする。また、年齢は乗船日現在とし、団体旅客の扱いは適用しない。

大人15人、小学生10人、大人に同伴される4歳の小児3人、運転手2人がバス1台でフェリーの1等指定制座席を利用する場合の運賃の合計額を求める計算式のうち、正しいものはどれか。なお、運転手2人を含め、全員が1等指定制座席を1人で利用するものとする。

#### 〈資料〉

1等指定制座席の旅客運賃：大人1人につき4,000円、小児1人につき2,000円

2等旅客運賃：大人1人につき3,000円、小児1人につき1,500円

自動車航送運賃：20,000円

- ア.  $\{4,000円 \times (15人 + 1人)\} + (2,000円 \times 10人) + \{(4,000円 - 3,000円) \times 1人\} + 20,000円$
- イ.  $(4,000円 \times 15人) + \{2,000円 \times (10人 + 3人)\} + \{(4,000円 - 3,000円) \times 2人\} + 20,000円$
- ウ.  $(4,000円 \times 15人) + (2,000円 \times 10人) + \{(4,000円 - 3,000円) \times 2人\} + 20,000円$
- エ.  $\{4,000円 \times (15人 + 1人)\} + \{2,000円 \times (10人 + 3人)\} + \{(4,000円 - 3,000円) \times 1人\} + 20,000円$

7. 全日本空輸による次の「eチケットお客様控」に関する以下の記述のうち、誤っているものを選択肢の中から1つ選びなさい。

〈eチケットお客様控〉

ANA eチケットお客様控	
ANA TICKET ISSUANCE NOTICE	
	合計運賃額 <b>¥73,940</b>
	FARE/CHARGE (TAXINCL)
ゼンリョ タロウ 様	確認番号 <b>000 111 222</b>
	RECEPTION NO.
1. 5月1日 ANA 127便 8:55発 東京/羽田 ⇨ 沖縄 TOKYO / HANEDA - OKINAWA (通常) 往復運賃	予約番号 <b>333</b> RESERVATION NO.
	<b>見本</b>
2. 5月4日 ANA 132便 16:50発 沖縄 ⇨ 東京/羽田 OKINAWA - TOKYO / HANEDA (通常) 往復運賃	航空券有効期限 1. 2013年05月01日 2. 2013年05月04日 発行所 ( ) 発行日 2013年03月06日 PNR : TKT :

〈資料〉

5月1日・5月4日の東京/羽田～沖縄区間の運賃（ANA）  
普通運賃（片道運賃）は40,970円（羽田空港の旅客施設使用料170円を含む）  
往復運賃の片道分は36,970円（羽田空港の旅客施設使用料170円を含む）

ア. 4月30日に往路、復路とも取り消し、払い戻しをした場合、この適用運賃は取消手数料が不要であるため、1区間あたり払戻手数料420円が差し引かれ73,100円が返金される。

イ. 往路便利用後、復路便出発までに予約の変更や取り消しの手続きができず、復路便に乗り遅れた場合、同一会社、同一区間であっても他の便に振り替えて利用することができないので、復路便については払い戻しとなる。

ウ. 往路便利用後、5月3日に復路便の予約を取り消し、払い戻しをした場合、この適用運賃は利用便出発時刻前の取り消しであれば取消手数料が不要であるため、73,940円から、往路便は普通運賃（片道運賃）適用となる40,970円と払戻手数料420円を差し引いた32,550円が返金される。

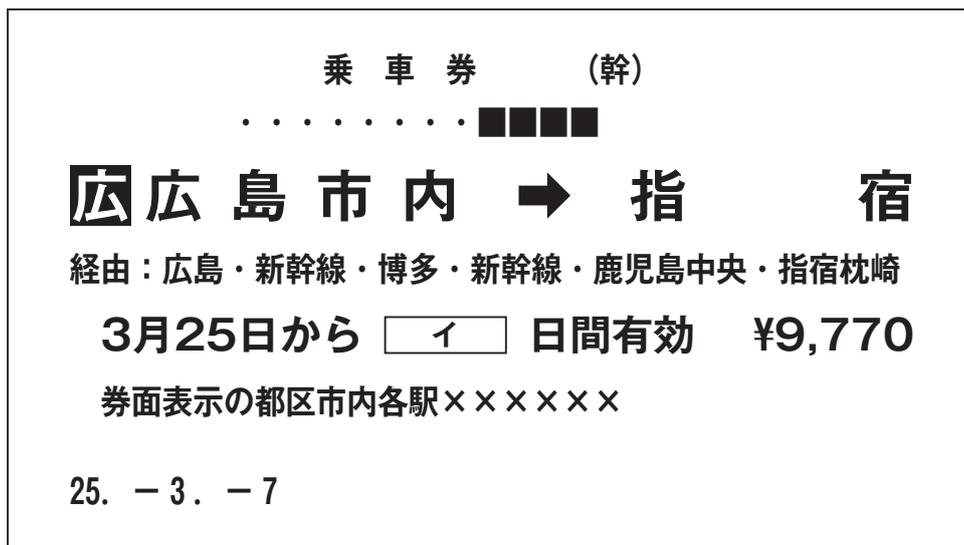
エ. 往路便利用後、5月3日に復路便の予約を取り消し、払い戻しをする場合の払戻期限は、復路便航空券の有効期限である2013年5月4日の翌日より起算した2013年5月14日である。

8. 国内航空2社（日本航空・全日本空輸）による国内航空運送に関する次の記述のうち、正しいものを選択肢の中から1つ選びなさい。

- ア. 6月30日に片道運賃（全日本空輸）を適用して搭乗する航空機を、6月20日に予約した場合、当該航空機の航空券購入期限は6月23日となる。
- イ. 小児普通運賃（日本航空）が適用された航空券において、予約便出発時刻前までに取り消しの申し出を行わず払い戻すときの取消手数料は、予約変更ができる運賃に対する大人の取消手数料の半額である。
- ウ. 航空機の座席予約申込みは、航空会社が特定の旅客運賃を支払う旅客につき別段の定めをした場合を除き、搭乗希望日の1ヶ月前より受け付けされる。
- エ. 12歳以上の旅客1人が3歳未満の幼児2人を同伴する場合、幼児2人が座席を使用しないのであれば、幼児2人とも無償となる。

9. 旅客鉄道会社（JR）に関する以下の各設問について、それぞれ選択肢の中から答を1つ選びなさい。

- (1) JR券（片道乗車券）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。



〈資料〉

この乗車経路による広島駅から指宿駅までの片道の営業キロは615.3キロ

この乗車経路による鹿児島中央駅から指宿駅までの片道の営業キロは45.7キロ

- ア. 3月25日に博多駅で途中下車し、3月27日に博多駅から指宿駅まで乗車する場合、引き続きこのJR券を使用することができる。
- イ. このJR券の有効期間（上記JR券の [イ] に記載される有効期間）は5日間である。
- ウ. このJR券を使用して、広島市内に属する駅の日市駅から広島市内の中心駅である広島駅まで乗車した後、広島駅で一旦改札口の外に出た場合であって、日市駅から広島駅までの間の運賃を別に支払わないときにおいても、引き続きこのJR券を使用して指宿まで乗車することができる。
- エ. 旅客の都合により鹿児島中央駅で旅行を中止した場合、有効期間内であっても鹿児島中央駅から指宿駅までの運賃の払いもどしはされない。

(2) 旅客営業規則に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 小児の自由席特急券を払いもどす場合の払いもどし手数料は、大人の自由席特急券の払いもどし手数料の半額である。
- イ. 往復乗車券は、片道の営業キロが601キロ以上あれば、復路の運賃が2割引となる。
- ウ. 乗車中の特急列車が所定の到着時刻よりも2時間以上遅延したときは、当該列車の特急料金の全額が払いもどされる。
- エ. 7月31日の午前11時に始発駅を出発する新幹線のグリーン車指定席の発売日時は、7月1日の午前11時である。

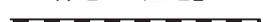
(3) 特急料金の乗継割引に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

(注) いずれも最初の列車の乗車日当日に乗り継ぐものとし、途中下車はしないものとする。

ア. 新幹線「はやぶさ」 東京駅  新青森駅  特急「スーパー白鳥」 函館駅  札幌駅  
◇ 「スーパー白鳥」及び「スーパー北斗」ともに乗継割引が適用される。

イ. 特急「むろと」 牟岐駅  徳島駅  特急「うずしお」 岡山駅  新幹線「のぞみ」 名古屋駅  
◇ 牟岐～岡山間の通しの特急料金に乗継割引が適用される。

ウ. 新幹線「のぞみ」 品川駅  新大阪駅  普通列車 大阪駅  特急「こうのとり」 豊岡駅  
◇ 「こうのとり」に乗継割引が適用される。

エ. 特急「北越」 富山駅  新幹線「Maxとき」 長岡駅  高崎駅  特急「草津」 中之条駅  
◇ 「北越」及び「草津」ともに乗継割引が適用される。

(4) 8月3日(土曜日)に次の行程で旅行する小児1人の運賃・料金について、資料に基づき、以下の各設問に該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(注1) 全て当日に乗り継ぎ、途中下車はしない。

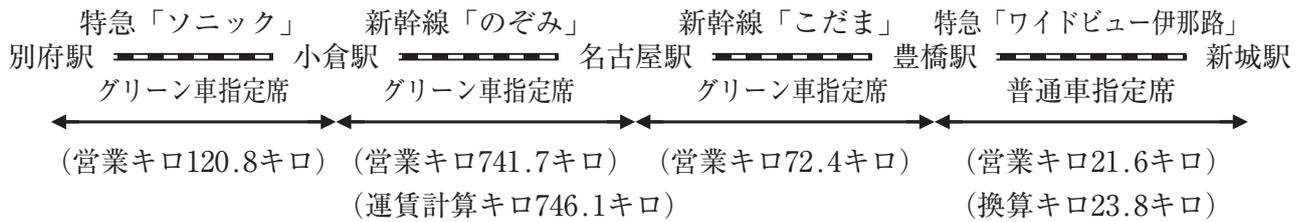
(注2) この行程の場合、JR九州とJR西日本の境界駅は小倉駅である。

(注3) 乗車券、特急券、グリーン券は旅行開始前に一括して購入する。

(注4) 8月3日(土曜日)に特急「ソニック」の普通車指定席を利用するときは通常期、新幹線「のぞみ・こだま」及び特急「ワイドビュー伊那路」の普通車指定席を利用するときは繁忙期である。

(注5) 名古屋駅では新幹線の改札口を出ないで乗り継ぐ。

〈行程〉



〈資料〉

- 本州3社内の幹線の普通運賃表(抜粋)

営業キロ(運賃計算キロ)	片道運賃(基準額)
921~960キロ	11,660円
961~1,000キロ	11,970円

- JR九州内の加算額表(抜粋)

境界駅からの営業キロ(運賃計算キロ)	加算額
121~180キロ	210円

- 普通車指定席特急料金表

区間	指定席特急料金(通常期)
別府駅~小倉駅	1,700円
小倉駅~名古屋駅(ひかり・こだま)	6,170円
小倉駅~名古屋駅(のぞみ)	6,670円
名古屋駅~豊橋駅(ひかり・こだま)	2,190円
小倉駅~豊橋駅(ひかり・こだま)	6,710円
豊橋駅~新城駅	1,240円

- グリーン料金表

種別	営業キロ	グリーン料金
JR九州内の特急列車(在来線)	101キロから200キロまで	1,530円
	100キロまで	1,240円
東海道・山陽新幹線	601キロから800キロまで	6,300円
	801キロ以上	7,440円

① 全行程の運賃の計算式として、正しいものはどれか。

- ア.  $120.8\text{キロ} + 741.7\text{キロ} + 72.4\text{キロ} + 21.6\text{キロ} = 956.5\text{キロ} \rightarrow 957\text{キロ} \Rightarrow 11,660\text{円}$   
( $11,660\text{円} + 210\text{円}$ )  $\div 2 \rightarrow$ は数整理した額
- イ.  $120.8\text{キロ} + 741.7\text{キロ} + 72.4\text{キロ} + 21.6\text{キロ} = 956.5\text{キロ} \rightarrow 957\text{キロ} \Rightarrow 11,660\text{円}$   
( $11,660\text{円} \div 2$ ) + {( $210\text{円} \div 2$ )}  $\rightarrow$ は数整理した額
- ウ.  $120.8\text{キロ} + 746.1\text{キロ} + 72.4\text{キロ} + 23.8\text{キロ} = 963.1\text{キロ} \rightarrow 964\text{キロ} \Rightarrow 11,970\text{円}$   
( $11,970\text{円} + 210\text{円}$ )  $\div 2$
- エ.  $120.8\text{キロ} + 746.1\text{キロ} + 72.4\text{キロ} + 23.8\text{キロ} = 963.1\text{キロ} \rightarrow 964\text{キロ} \Rightarrow 11,970\text{円}$   
{( $11,970\text{円} \div 2$ )}  $\rightarrow$ は数整理した額} + {( $210\text{円} \div 2$ )}  $\rightarrow$ は数整理した額}

② 特急「ソニック」の料金の計算式として、正しいものはどれか。

- ア.  $[(1,700\text{円} - 500\text{円}) \times (1 - 0.5)] \div 2 + 1,530\text{円}$
- イ.  $\{(1,700\text{円} - 500\text{円}) \div 2\} + 1,530\text{円}$
- ウ.  $[(1,700\text{円} - 500\text{円}) \times (1 - 0.5)] \div 2 + \{(1,530\text{円} \div 2)\} \rightarrow$ は数整理した額}
- エ.  $\{(1,700\text{円} - 500\text{円}) \div 2\} + \{(1,530\text{円} \div 2)\} \rightarrow$ は数整理した額}

③ 新幹線「のぞみ・こだま」の料金の計算式として、正しいものはどれか。

- ア.  $[\{6,710\text{円} + (6,670\text{円} - 6,170\text{円}) - 510\text{円}\} \div 2] + 7,440\text{円}$
- イ.  $[\{6,710\text{円} + (6,670\text{円} - 6,170\text{円}) - 510\text{円}\} \div 2] + (6,300\text{円} + 1,240\text{円})$
- ウ.  $\{(6,670\text{円} - 510\text{円}) \div 2\} + \{(2,190\text{円} - 510\text{円}) \div 2\} + 7,440\text{円}$
- エ.  $\{(6,670\text{円} - 510\text{円}) \div 2\} + \{(2,190\text{円} - 510\text{円}) \div 2\} + (6,300\text{円} + 1,240\text{円})$

④ 特急「ワイドビュー伊那路」の料金の計算式として、正しいものはどれか。

- ア.  $\{(1,240\text{円} + 200\text{円}) \times (1 - 0.5)\} \div 2$
- イ.  $\{1,240\text{円} \times (1 - 0.5)\} \div 2$
- ウ.  $(1,240\text{円} + 200\text{円}) \div 2$
- エ.  $1,240\text{円} \div 2$

